

コロナ禍での地域との 関わりの変容について

地域密着型特別養護老ホーム 陽だまり

副島 真人

1

陽だまりのご紹介

2012年に開設した地域密着型特別養護老人ホーム

定員 特養29名 短期入所10名

住所 福岡市城南区東油山1丁目33-11

住宅街の中にあり、戸建や団地が近くにあり地域交流が盛んである。

※昨年 ユニットリーダー実地研修施設に選定いただき今後もユニットケア
推進に力を入れていきたい。

2

はじめに

コロナ禍での生活も1年以上が経過しました。

皆様の施設でも感染対策に追われ、また感染の恐怖に怯えながらご入居者の生活を守っていくために大変苦勞されていると思います。

人と人との接触を減らしていくことが一番の感染対策という状況で、地域やご家族との関わりを保っていくことが皆様の施設でも非常に難しく課題の一つとなっているのではないかと思います。

皆様と一緒にこの課題について考えていければと思います。

よろしくお願いいたします。m()m

3

陽だまりでの取り組み

①コロナ前とコロナ後の陽だまりでの取り組み方の比較

②現在できていること

③今後やっていきたいこと

4

コロナ前とコロナ後の比較

コロナ前

ボランティアの受け入れ
 運営推進会議の開催
 地域方をお招きした行事の開催
 お花見や野球観戦など

コロナ後

広報誌の地域への配布
 ホームページの充実
 ん～(☹)

コロナ前は積極的な活動をおこなっていたが、コロナ後はボランティアの受け入れ、運営推進会議などができておらず、広報誌を地域の方にお配りしたりホームページの充実を図ったりしているが……

5

以前はこんな感じで行っていた

ボランティアの受け入れ ライアー演奏



運営推進会議



※写真は同意を得て掲載しています

6

地域との行事
餅つき大会



お出かけ
パイパイドームにて野球観戦



7

現在はこんなことをやっています

広報誌を地域へ



ホームページでお知らせ



8

今後はこんなことをやっていきたい

SNSの活用 地域への発信力の強化



オンラインの活用 交流する！



9

これから～どうしていくか？

コロナウィルスが一日でも早く終息し元の生活に戻ることを皆様を望んでいます。

しかし、現実的にはもうしばらく今の状況が続いていくのではないかと思います。

今後、感染対策を十分に行いながら、どのように地域と関わりを持っていくのかということを皆様と考えていきたいと思っています。

10

地域との関わりについて考えましょう！

- ・ 現在取り組んでいること紹介いただけたら
- ・ 特別養護老人ホームの地域での役割について
- ・ どのように地域とかかわっていくのか？